

戦争法案は廃案に

安保法制

列島をゆるがす反対世論で 安倍政権をおいつめましょう

「戦争反対」の国民多数の声を無視して、暴走をつづける安倍政権。国会審議をつうじて、安保法制の正体が、憲法違反の戦争法案であることがますますハッキリしてきました。

日本共産党

自衛隊が国会無視の独走

国民に知らせず、 戦争法先取りの実行計画

戦争法案の8月成立を前提に、「新法制に基づく運用ができるよう準備」する——共産党・小池参院議員が暴露した自衛隊の内部文書には、驚くべき内容が記されていました。

この文書は、安保法制が審議入りした日に、陸海空自衛隊の主要幹部350人にくばられたもの。国会を無視し、成立日まで決めて、実行計画をたてる——戦前と同じ「軍部の独走」です。

平時から米軍の指揮下に

海外で戦争する 体制を具体化

文書は、「軍軍間の調整所」設置を明記。平時から戦時までのあらゆる事態で日米の「調整」をはかる仕組みです。自衛隊がみずから「軍」と呼び、日常的に米軍の指揮下にはいる大問題です。

さらに、南スーダンの自衛隊PKO部隊で、死傷者がでる危険の高い「駆けつけ警護」をおこなうことにも言及。首相や防衛相は、「研究するのは当然」と開き直りますが、とんでもありません。



国民に隠して、戦争体制着々

元外務省国際情報局長・孫崎 享さん

「安保法案成立前から国民の知らないうちに、違憲の集団的自衛権行使の自衛隊体制づくりが進んでいることを示しています。非常に大きな問題です」(「しんぶん赤旗」日曜版8月23日付)

「安倍首相はひとつも質問に答えてない。共産党だけです、そこを突っ込んで渡り合えるのは」
(作家・僧侶・瀬戸内寂聴さん 党創立93周年記念講演会へのメッセージ)

日本共産党の国会論戦、ぜひごらんください。

戦争法案を廃案に 国会論戦

検索



2015年8・9月 号外

発行 ● 日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

☎03-3403-6111 FAX03-5474-8358 ホームページ <http://www.jcp.or.jp>

憲法9条を生かした 平和の外交戦略で



領土問題、核、ミサイル… “紛争を戦争にしない” ことこそ必要

さまざまな紛争や緊張の火種がある北東アジア。安倍政権のように軍事一本槍の対応では、相手もさらにエスカレートし、危険な悪循環に陥って

しまいます。いま日本に必要なのは、紛争はあっても、それを絶対に戦争にしないための平和の外交戦略です。

東南アジアで広がる平和の枠組みがヒント

「北東アジア平和協力構想」 を提案します

日本共産党

東南アジアの国々には、「地域内のあらゆるもめ事を話し合いによって解決する」という東南アジア友好協力条約をむすび、重層的な平和と安全保障の枠組みをつくっています。

日本共産党は、すでにつくられ、有効に機能しているこの仕組みを、北東アジアにもつくることを提唱しています。

①北東アジア規模の友好協力条約を締結する

武力の行使を放棄して、国家間の紛争は平和的な解決をめざす、お互いの内政には干渉しない、信頼と友好をはぐくむために対話と協力をすすめるなどを定める友好協力条約を締結する。

②北朝鮮問題を「6カ国協議」の枠組みで解決する

2005年9月の「平壤宣言」では、日・中・韓・北朝鮮・米・ロシアの6カ国が話し合いのテーブルにつき、協力して、核・ミサイル・拉致・過去の歴史問題の清算など、様々な問題を包括的に解決していく枠組みがつくられた。この枠組みを生かすことが、北朝鮮の問題を平和的に解決していく道となる。

③領土紛争をエスカレートさせない行動規範を結ぶ

領土紛争にあたっては、力による現状変更、武力の行使および威嚇など紛争をエスカレートさせる行動は厳に慎み、国際法にのっとり、友好的な協議および交渉をつうじて紛争を解決する行動規範を結ぶことをめざす。

④日本の侵略戦争と植民地支配への反省は不可欠の土台

北東アジアでの平和友好関係を築くために、侵略戦争を二度と繰り返さないという反省と決意が必要。日本軍「慰安婦」問題など未解決の問題をすみやかに解決する。侵略戦争を肯定・美化する戦前への逆流を許さない。